

## 令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

令和7年5月21日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

## 記

認定：4件

認定の内訳 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	90代以上	女性	自宅にて被災。近隣の避難所、市外の親族宅を経て、老人福祉施設に入所するが、停電断水下の避難所での過酷な体験、断水が続く親族宅での避難生活等により心身に相当の負荷が生じ、震災がなかった場合と比較してより早期に体力が低下して死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
2	90代以上	女性	老人福祉施設にて被災。被災によって入所継続困難で市外の病院に移るが、介護環境の変化や新型コロナウイルスへの感染等のため心身に相当の負荷が生じ、急性心不全を発症して死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
3	90代以上	女性	自宅にて被災。車中泊、近隣の避難所、市外の親族宅を経て、老人福祉施設に入所するが、車中泊、停電断水下の避難所での過酷な体験、慣れない土地での施設入所等により心身に相当な負荷が生じ、脳梗塞を発症して死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
4	80代	女性	非公表

(参考) 審査結果：審査件数8件（認定4件、不認定3件、継続1件）  
災害関連死の認定総数110件